



散策環境向上に向けて

憩いの場整備

来訪者が快適に散策を楽しめるように、ベンチ等による憩いの場所を整備しています。

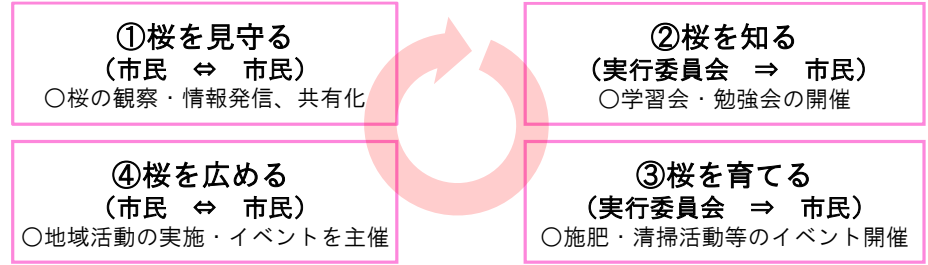
見沼代用水西縁・東縁沿いにある憩いの場は、平成22年度から平成26年度までに、企業等からご寄附いただいたものを含め、12箇所整備してきました。

平成27年度は、6箇所の憩いの場の整備を行います。

憩いの場整備箇所



気軽に参加できる桜回廊を守り・育てる仕組みづくり



見沼田んぼ(新都心東地区)の散策環境向上のためのワークショップ

見沼田んぼの新都心東地区における散策環境を向上するために、さまざまな課題解決に向けて、市民が主体となって、なにができるか、どんなことがしたいか、について話し合うワークショップを実施しました。

内容 会場：大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）

- 第1回（7月4日） 参加者：29名
見沼田んぼの農業・見沼代用水・市民活動について講義、意見交換
- 第2回（9月5日） 参加者：31名
新都心東地区の散策、意見交換
- 第3回（10月31日） 参加者：25名
意見まとめ、成果品作成、各班意見発表

参加者 市報、HPにて募集（市民、見沼田んぼで活動する市民団体、周辺自治会、埼玉大学学生）

参加者の意見 私たちにできることは

- 桜回廊キレイキレイ作戦
⇒地域、行政、スポンサーが連携し、除草・散水システムを構築
- 三者（市民・農家・行政）ネットワーク構築
⇒三者で集まり会議等を開催、見沼田圃基金等、条例の制定
- 見沼回遊ルート その光と影
⇒散策ルートに産廃の山、耕作放棄地を入れ、監視の目を高める
- 子どもたちに見沼の自然を残そう大作戦
⇒三崎の公有地等を活用して、自然を学べるプログラムを実施
- 上山口新田ビューティーアップ大作戦
⇒上山口新田の援農活動を推進し、水田景観を残す



地域・行政・事業者等が連携した桜の管理等の検討